



令和6年度 三股町立梶山小学校 学校だより(No12)

かじやま



かんだうがいっぱい じまんがいっぱい やる気じゅう分 毎日が楽しい 梶山小

R6.11.12(火) : 文責 校長

◆明日、梶山小で、NIE研究会が開催されます◆



NIEとは、Newspaper in Education の略で、教育に新聞をと訳されています。「①新聞にふれる、②新聞を活用する、③新聞を作ってみる等の活動がある。」と示されています。

明日11月13日(水)の午後から、本校で「宮崎県NIE研究会」が開催されます。研究会は2部構成になっています。第1部が2、6年生での公開授業です。第2部が授業研究会です。授業研究会では、NIEに対して色々な意見が出されるのではないかと考えています。(＊写真は、6年生のNIEコーナーです。)

以下、保護者の皆さんにもNIE研究会を前にして、少しだけ本校のNIEについて紹介させていただきます。

梶山小のNIE研究の特色について

①まずは、こども新聞や通常の新聞にふれてきたことだと思っています。

梶山小では、毎週、こども新聞が全ての子供一人一人に配付される環境ができています。新聞(通常の新聞)についても、全国紙4社と宮崎日日新聞社の合計5社から(9月から12月まで)、毎日5部ずつ配達される環境が整っています。

②なるべく、新聞を授業に取り入れている。

新聞を調べ学習に生かしたり、新聞を作文力向上に生かしたり、様々な試みに挑戦しています。各学年、国語、社会、生活科、総合的な学習の時間等の時間に無理のないように進めています。

③NIEタイム

1週間に1回、朝の活動の時間にNIEタイムを実施しています。発達段階に合わせて、こども新聞や新聞を読んだり、新聞の感想を書いたり、感想を発表し合ったりしています。

③新聞投稿

宮崎日日新聞の「若い目」への投稿が中心ですが、投稿を続けています。掲載された子供は、大きな自信と励みになっているようです。

④新聞づくり

各学年、発達段階に応じた新聞づくりに取り組んでいます。ちなみに、新聞づくりは、どの学校でも、ずっと前から学習のまとめ等で実践しています。新聞づくりが好きな子供たちは多いように思います。

子供たちのこれまでの変容について

・NIE実践校として活動したことにより、これまでより新聞にふれる機会が格段に多くなったことが一番の変容だと思っています。日常的に新聞が身近になってきたことは、「読解力の向上」として子供たちの基礎的な力となっているのではないかと思います。



明日の本校でのNIE研究会についてお伝えしたくて、No12を発行しました。